

Release Notes

NITRO-SDK

2005/05/09

任天堂株式会社

Version: NitroSDK-2.1

本パッケージについて

本パッケージはニンテンドーDS（開発コード NITRO）のアプリケーションを開発するための基本ライブラリセットです。NITRO のアプリケーションの開発効率を高めるためにさまざまな API が用意されて、ハードウェアレジスタを抽象化し、視認性の高いソースコードを作成するお手伝いをいたします。またメモリや割り込みなどのシステムリソース管理の標準的な機構をご提供いたします。

パッケージに含まれるもの

- NITRO-SDKライブラリ（グラフィックス・OSシステム サブプロセッサ用コンポーネント etc）
- オンライン版関数リファレンスマニュアル
- NITRO機能別デモプログラム
- 開発ターゲットの切り替えを統合したmakeシステム

変更点について

NITRO-SDK 2.1 までにリリースされた個々のパッケージでの変更点については、オンライン関数リファレンスマニュアル中の「NITRO-SDK2.1までの変更履歴」の頁をご参照ください。

主だった変更箇所は以下の通りです。

- 従来 NITRO-System に収録されていたサウンドライブラリとその関連ファイル（ドキュメントおよびサンプル）を NITRO-SDK に収録しました。
- メモリマップの見直しを行い、デフォルトでARM9に割り当てるMainRAM領域の大きさを128KByte増加し、それに伴い、ARM7およびDTCMの配置領域を移動しました。
- プログラムに採用するROMの種類として、従来のマスクROM以外にワンタイムPROMを指定するためのビルドオプションをサポートしました。
- 拡張言語コードとして中国語に正式に対応しました。
- その他、既存の各ライブラリに修正および機能追加を行いました。